

株式会社ドトール・日レスホールディングス
URL <http://www.dnh.co.jp>

本社 東京都渋谷区猿楽町10番11号
TEL 03-5459-9178 (代表)

DOUTOR

株式会社ドトールコーヒー
www.doutor.co.jp

NRS

日本レストランシステム株式会社
www.n-rs.co.jp



ドトールコーヒーショップ



エクセルシオール カフェ



カフェマウカメドウズ



LE CAFÉ DOUTOR
GINZA



cafe mokka



DNREPORT Vol.4

株式会社ドトール・日レスホールディングス
2010年2月期 第2四半期報告書

CONTENTS

株主の皆様へ	1	D&Nカフェレストラン	
経営戦略Q&A	2	本格始動!	11
連結決算ハイライト	5	ドトール・日レスTOWN訪問記	12
事業別の状況	6	ご家庭で	
連結財務諸表	7	お楽しみいただける商品	13
トピックス	8	会社概要	15
ニュービジネス特集	9	株式情報	17



環境保全のため、FSC認証紙と大豆油インキを使用して印刷しています。

証券コード：3087

株主の皆様へ

株主の皆様方におかれましては、ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。平素は当社事業へのご理解と格別のご支援を賜り、心より御礼申し上げます。

当期における経済環境は、政府の景気対策や輸出の持ち直しなどから、景気の悪化に底打ちの兆しは見られるものの、企業業績の低下や雇用環境の悪化から先行き不透明な厳しい状況が続きました。外食業界におきましても、景況感の悪化による消費者の生活防衛意識の高まりや低価格競争に拍車がかかるなど、大変厳しい経営環境の中で推移しております。

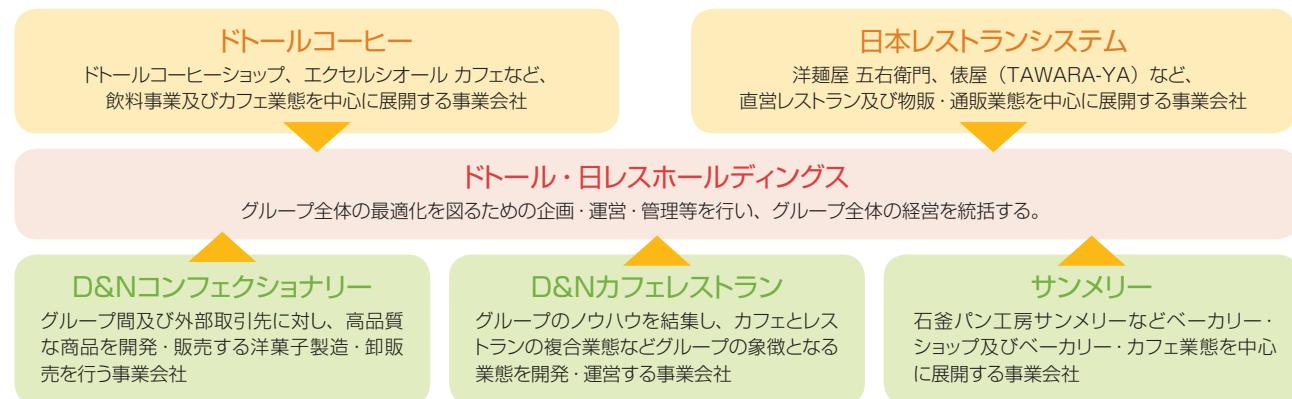
このような状況下、当社グループは、「外食業界における日本一のエクセレント・リーディングカンパニー」の地位確立を目指し、立地を厳選しながら新規出店するとともに、コストコントロールの徹底と業務の効率化を図り、既存事業の再強化を行いました。新たな取り組みといたしましては、グループのノウハウを活かして、

新規業態開発や店舗運営などの事業展開を図る100%子会社「D&Nカフェレストラン」による「オリーブの木」の商品開発やグループ間を跨る業態変更など、着々と基盤固めに取り組んでおります。さらに、経営統合後の基盤固めから事業の拡大に軸足を移し、カフェ事業、レストラン事業に続く新規事業としてベーカリー事業に本格的に進出するため、株式会社サンメリーの100%子会社化の契約を締結しました。今後は、ベーカリー事業のノウハウを共有することにより、さまざまな相乗効果を得ることで、グループ全体の企業価値の増大を図っていく所存です。

株主の皆様方におかれましては、今後とも変わらぬご理解とご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

2009年11月

グループ事業の概況



経営戦略Q&A

MANAGEMENT STRATEGY

代表取締役会長 山内 実 代表取締役社長 星野 正則

次なる成長ステージを目指して グループ事業の拡大を加速しています。



ベーカリー市場への進出など、 新たな取り組みについてご説明願います。

日本の外食業界は、業界全体の市場規模が縮小傾向にある中、競争の激化による業界再編が避けられない状況にあり、競争力のある優れた少数の企業グループが勝ち残る時代にあります。こうした厳しい環境の中、当社は平成19年10月の設立以来、「外食業界における日本一のエクセレント・リーディングカンパニー」となるため、株式会社ドトールコーヒーと日本レストランシステム株式会社が得意分野を集結させ、経営資源とノウハウの有効活用を図ることで、確実に収益を積み上げることのできる競争力の高い企業グループを形成してまいりました。

当社では統合以来、新業態の開発、洋菓子部門の統合、子会社設立など、経営統合後の基盤固めに努めてまいりましたが、今後につきましては、基盤固めから事業拡大へ軸足を移し、融合から生まれる改善と進化を果たすことで更なる成長を加速していく所存です。このたびの海外進出の足がかりとなる韓国へのコーヒー飲料事業進出、長期的な視野を持った水耕栽培による野菜等の生産、そしてサンメリー子会社化によるベーカリー事業への本格的な進出は事業拡大への第一歩であります。

(新事業の詳細はP8～P10をご覧ください)

代表取締役社長
星野 正則



Q 当期の営業における課題と上半期時点での進捗をお聞かせください。

経営環境としては、政府の景気対策や輸出の持ち直しなどから、景気の悪化に底打ちの兆しは見られるものの、企業業績の低下や雇用環境の悪化から先行き不透明な厳しい状況が続いております。外食業界においても、お客様の生活防衛意識の高まりや低価格競争に拍車がかかるなど、厳しい環境となっております。当社としても、一部地域やロードサイド店舗を中心に既存店の回復が遅れていることから、足元の業績は計画を若干下回る結果となっております。

現在、新メニューの開発、新業態の開発やグループ間を跨る業態変更など、新規出店だけでなく既存店の再強化に取り組んでおりますが、下期に向け新たな施策を打ち出すことで、売上高を伸ばしていきたいと考えております。

Q 下期からの展開と通期の見通しはいかがですか？

現在の経営環境は非常に厳しく、第2四半期段階で若干の計画からの遅れはあるものの、経常利益が計画に対し△97百万円ということもあり、当初予想通り、通期計画の変更はなく、売上高1,064億90百万円、営業利益107億34百万円、経常利益110億59百万円、当期純利益55億19百万円を据え置きます。

下期については、既存店強化に対する対応策を打ち、売上の回復に努めるとともに、グループ間での業態変更や新規出店の加速、新業態の開発など、通期計画を達成するよう、更なる対応を図ってまいります。

Q 海外進出やM&Aに対する考え方をお聞かせください。

このたびの韓国国内におけるコーヒー飲料事業の進出については、海外進出へのひとつの布石と考えております。現段階では卸売りを中心とした業務を拡大していくことに注力しておりますが、将来的にはさまざまな取り組みを検討していく予定です。また、韓国だけでなく、海外市場全体に対する調査、研究を進めることで、新たな展開も模索していく所存です。

M&Aについては、外食に限らずグループ全体に相乗効果があるものについて積極的に検討したいと考えております。グループ全体の企業価値を拡大することのできるものであれば、提携や買収に限らず、さまざまな取り組みを行っていく所存です。

このたびのサンメリーの100%子会社化については、ベーカリー事業への本格的な進出という意味だけでなく、当社の本格的な事業拡大への動きとなります。「外食業界における日本一のエクセレント・リーディングカンパニー」を目指し、これまで着々と基盤固めを行ってまいりましたが、今後は融合から生まれる改善と進化を果たすことで更なる成長を加速していく所存です。

代表取締役会長
山内 実



Q 株主の皆様へメッセージをお願いします。

経済環境は引き続き厳しい状況が続くものと予測しておりますが、当社は、D&Nカフェレストラン及びD&Nコンフェクショナリーを中心に統合効果を明確に打ち出していくための施策を進め、基盤固めを着実に進むと同時に、サンメリーとのシナジー効果を実現し、ベーカリー事業を積極的に展開するなど、更なる成長戦略を図ることで事業を拡大し、企業価値を増大させていく所存です。

株主の皆様方におかれましては、今後とも変わらぬご理解とご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

FINANCIAL HIGHLIGHT

連結決算ハイライト

第2四半期のポイント

- 原材料価格の低下やメニュー見直しにより粗利益率がアップ
- サンメリーの100%子会社により、ベーカリー事業へ本格的に進出
- 経営環境悪化により既存店が伸び悩み
- 厳しい経営環境の中でも一株当たり13円の安定した中間配当を実施

連結売上高

51,794
百万円
(前年同期比 3.6%減)



連結営業利益

5,051
百万円
(前年同期比 4.5%減)



連結経常利益

5,248
百万円
(前年同期比 4.7%減)



連結四半期純利益

2,514
百万円
(前年同期比 30.6%減)



BUSINESS REVIEW

事業別状況

小売事業(レストラン/喫茶)

●レストラン部門●

商品面では、商品価値の一層の向上を目指して、「卵と私」や「TAWARA-YA 俵屋」等の新メニューの開発を行う他、「そば&パスタ 矢萩」の新業態を開発しました。また、「TAWARA-YA 俵屋」については、ハンバーグ専門店のほか、ハンバーグとパスタやハンバーグとステーキなど、ハンバーグを中心に立地にあわせたメニュー展開を図り、チェーン化の推進を図りました。しかしながら、景況感の悪化による消費者の低価格志向や生活防衛意識の高まりを背景に、一部の地域やロードサイド店舗を中心に来客数が伸び悩んだことなどから、既存店売上高は前年を下回りました。店舗展開につきましては、14店舗を新規に出店する一方、顧客の嗜好に合わせて「洋麺屋 五右衛門」や「TAWARA-YA 俵屋」等に14店舗の業態変更をしました。これらの結果、小売事業におけるレストラン部門の売上高は149億50百万円、営業利益は26億69百万円となりました。

●喫茶部門●

商品面では、ドトールコーヒーショップにおけるフローズンカフェラテやレッドスパイスドック、エクセルシオール カフェにおけるプレミアムフローズンなど夏を意識した商品が好評を頂いたほか、商品価値の向上を目指し新ベージュ5種など新メニューの開発を行い、更なる美味しさの追求に努めました。店舗展開では、ドトールコーヒーショップをフランチャイズで13店舗、エクセルシオール カフェをフランチャイズで8店舗、直営1店舗の合計22店舗を厳選した立地へ新規出店いたしました。しかしながら、昨年来の効率化に伴う店舗の減少と景況感の悪化も重なり、既存店の来店客数が伸び悩んだことから、売上高は前年を下回る結果となりました。これらの結果、小売事業における喫茶部門の売上高は146億96百万円、営業利益は13億5百万円となりました。

卸売事業

一般卸売上においては、引き続きドリップやコーヒー原料の販路拡大に努めるとともに、お客様の嗜好に合わせたチルド飲料の新商品を積極的に販売するなど、消費環境が厳しい中においても、売上高は前年を上回ることができました。また、韓国の乳業メーカー最大手であるソウル牛乳協同組合と業務

提携し、韓国国内におけるコーヒー飲料事業の展開を図ることとなりました。平成21年8月1日よりチルドPET飲料の販売を開始し、お陰様でお客様から大変ご好評を頂き、計画以上の売上を達成しております。これらの結果、売上高は216億22百万円、営業利益は37億63百万円となりました。

CONSOLIDATED FINANCIAL STATEMENTS

連結財務諸表

連結貸借対照表(要旨)

(単位:百万円)

科 目	当第2四半期 連結会計期間 2009年8月31日現在	前期 2009年2月28日現在
資産の部		
流動資産	30,243	25,817
固定資産	66,078	68,093
有形固定資産	32,883	32,573
無形固定資産	1,404	1,415
投資その他の資産	31,790	34,103
資産合計	96,322	93,910
負債の部		
流動負債	13,446	13,568
固定負債	3,433	3,373
負債合計	16,880	16,942
純資産の部		
株主資本	80,001	78,144
資本金	1,000	1,000
資本剰余金	25,858	25,858
利益剰余金	53,510	51,653
自己株式	△367	△367
評価・換算差額等	△570	△1,183
その他有価証券評価差額金	△550	△1,182
繰延ヘッジ損益	△20	△1
少数株主持分	11	7
純資産合計	79,441	76,968
負債及び純資産合計	96,322	93,910

連結損益計算書(要旨)

(単位:百万円)

科 目	当第2四半期 連結累計期間 2009年3月1日から 2009年8月31日まで	前中間期 2008年3月1日から 2008年8月31日まで
売上高	51,794	53,733
売上原価	21,162	22,643
売上総利益	30,632	31,089
販売費及び一般管理費	25,580	25,800
営業利益	5,051	5,288
営業外収益	252	295
営業外費用	55	79
経常利益	5,248	5,505
特別利益	57	1,512
特別損失	869	578
税金等調整前四半期(中間)純利益	4,436	6,439
法人税、住民税及び事業税	1,917	2,927
法人税等調整額	—	△109
少数株主利益	3	1
四半期(中間)純利益	2,514	3,620

連結キャッシュ・フロー計算書(要旨)

(単位:百万円)

科 目	当第2四半期 連結累計期間 2009年3月1日から 2009年8月31日まで	前中間期 2008年3月1日から 2008年8月31日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	4,420	4,905
投資活動によるキャッシュ・フロー	△189	△1,364
財務活動によるキャッシュ・フロー	△767	△1,364
現金及び現金同等物に係る換算差額	△6	10
現金及び現金同等物の増加額	3,456	2,187
現金及び現金同等物の期首残高	15,554	16,754
現金及び現金同等物の四半期末(中間期末)残高	19,010	18,941

水耕栽培による野菜生産を行う関連会社「T&Nアグリ」を設立。



本レストランシステムでは、「株式会社トーエル」との合併会社であるT&Nアグリ株式会社を設立いたしました。T&Nアグリでは、日レスの強みである商品開発力及び販売力とトーエルの強みであるエネルギー及び水事業を結集することにより、トーエルの水と熱の配給ノウハウを利用して水耕栽培による野菜などの生産を予定しておりますが、当面は食材の長期的な安定調達や管理強化による安全・安心の確保など、長期的な視野のもとで運営し、短期的には研究・開発を主体にしていく方針です。



※写真はイメージです。

TOPICS

韓国No.1乳業メーカー「ソウル牛乳」と提携、コーヒー飲料を共同開発。



カフェモカ カフェラテ アメリカーノ

ドールコーヒーでは、「ソウル牛乳協同組合」と業務提携契約を締結し、韓国国内におけるコーヒー飲料事業に進出いたしました。このたびの提携においては、ドールコーヒーのブレンド・焙煎技術とソウル牛乳のセールス力、マーケティング力を活かしたマーケティング・ミックスを展開いたします。その第一弾として、8月1日よりチルドPET飲料を先行投入し、「オールアラビカ豆の高級感」、「新鮮なチルド飲料のおいしさ」、そして「リーズナブルな価格」を消費者に訴求し差別化を図ります。今後は、市場規模の獲得の可能性が高いボトル缶、瓶市場に順次参入、またソウル牛乳の生産体制が整い次第、チルドカップコーヒー市場へも参入を計画しており、両社の韓国におけるコーヒー飲料事業の競争力を高め、一層の業容発展を図ってまいります。また、引き続き海外市場に対する調査、研究を進めることで、新たな展開も模索していく所存です。

ニュービジネス特集 ● ベーカリー事業への参入

美味しさと健康を追求するパンづくり

天然酵母の本格派「石窯パン工房」を展開

ベーカリー事業参入の目的とは？

当社では、10月1日付で株式会社サンメリーの発行済株式を100%取得し、ベーカリー事業へ本格的な進出を果たしました。このたびの株式取得については、当社が持つ磐石な財務基盤と外食事業の高度なノウハウを活かしてサンメリーの飛躍的な企業価値の向上を実現することができるとともに、サンメリーが持つベーカリー事業のノウハウを共有することによりさまざまな相乗効果を得ることで、グループ全体の企業価値の増大を図ることが可能となります。当社では厳しい経営環境のもとにおいても更なる成長をすべく、経営統合後の基盤固めから事業拡大に軸足を移すことを目的としております。

期待されるシナジー効果

サンメリーについては、10月1日現在で既に仕入や借入金利の低下などにより数千万円のコストの削減が実現しており、今後は経理・システム・総務・人事といった管理部門の一体化や仕入の共同調達体制構築、物流体制の見直しなどにより更なるコストシナジーを発揮できます。また、グループにおけるベーカリー事業の強化を図るため、メニューの共同開発やグループ間の相互商品供給、更に新規出店では郊外店を中心とした既存業態の拡大をはじめ、グループの業態との併設出店などを予定しており、ベーカリー・カフェなど新業態の開発も行っていく予定をしております。

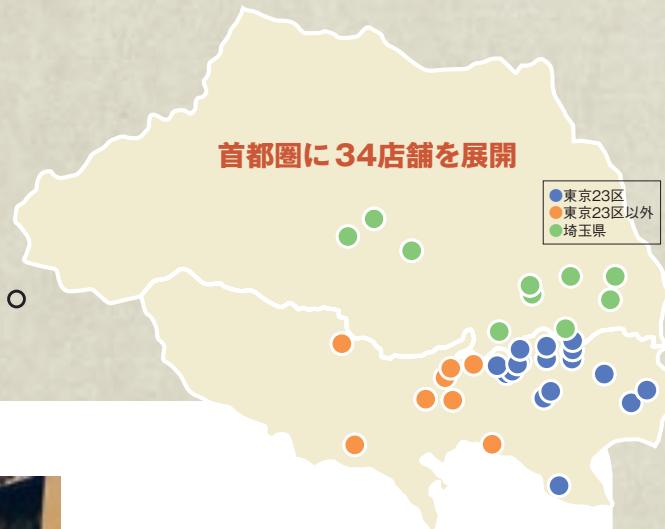
サンメリーってどんな会社？

サンメリーは、昭和21年創業。「大阪屋」という和菓子屋を前身に事業を始めました。当時、終戦直後で物資が不足し、多くの和菓子屋が合成甘味料で紛らせていた時にもあくまで砂糖にこだわり一切妥協しなかった。本物志向にこだわり、厳選された安全な食材をお客様が安心してお召し上がり頂く。これまでも、そしてこれからも「おいしさ」と「健康」を追求して、食文化の向上に貢献することがサンメリーの社会的使命です。



<http://sunmerrys.co.jp/>

するサンメリーを子会社化。



商品のご紹介

スペインから取り寄せた石釜を使い、遠赤外線ですべてしっとりとした香ばしいパンは、天然酵母や国産小麦など材料や製法にこだわった自慢の商品です。その一部を紹介します。



「アントワヌブレッド」

皮はパリッと、中はおもちりふわふわしたフランスパンタイプの山型食パン。シンプルながら独特の風味と食感でサンメリー人気No.1! トーストはもちろん、サンドイッチやピザトーストにも良く合います。おすすめは少し厚めの6枚切り。自由にアレンジしてお召し上がりください。



「地元あんぱん」

北海道十勝産の小豆を炊きあげた粒あんを卵&バターたっぷりのソフト生地で包んだジャンボサイズ。大切に育てていきたい自慢の品だから地元の名前をつけました。上品なあんこの味わいを存分にどうぞ。



「フィセルバター」

たっぷりのフレッシュバターをしぼったサンメリー自慢のフランスパン。表面をバリバリに焼き上げたフランスパンにじんわり染み込んだバターの風味がたまりません! 薄くスライスしてお好みの具をのせれば味わい深いカナッペにもなってちょっとしたオードブルに。



「カレーパン」

たっぷりの野菜とお肉をオリジナルスパイス配合で煮込んだ自家製カレー入り。マイルドな味わいでお子様にも大人気。レンジで少し温めてからトースターでまわりをカリッと焼きなおせば、揚げたての風味が戻ります。



D&Nカフェレストラン本格始動!

グループの持つノウハウを重ね合わせて活用する業態・店舗を運営する会社として2008年12月に設立されたD&Nカフェレストラン。商品開発やメニューなどの見直し、グループの人事交流を含めた店舗運営などの基盤固めを終え、本格的に新規出店を加速します。

「オリーブの木」初のロードサイド型店舗を出店!! グループ業態であるハンバーグ中心の「俵屋」と併設

気軽にイタリアンテイストを楽しめるスパゲッティとピッツアの店「オリーブの木」。厳選した旬の素材と良質なデュラム小麦の麺を使用し、オリジナルに開発したトマトソースやクリームソースが自慢です。豊富な種類のスパゲッティやモチモチ生地の本格ピッツアに加え、スイーツも充実。毎日のランチ需要はもちろん、ディナータイムにも対応し、魚介や野菜とも相性のいいワインを各種取り揃えております。

本格的にもかわらず、気取りのない「オリーブの木」が、お客様にとってより身近な立地であるロードサイドにも本格的に進出することになりました。また、同一の敷地内にグループの業態であるハンバーグ&ステーキ「俵屋」も同時オープン。お近くにお越しの際は、是非お立ち寄りください。

D&Nカフェレストランでは、今後も新たな立地を創造し、グループによる併設店舗、複合店舗を含め新規出店を加速していくとともに、既存業態だけでなく、年内にはカフェ&ダイニングなどの新業態もオープンしていきます。新たな価値を創造し、「飲」と「食」の融合による新しい外食文化を発信するD&Nカフェレストランに今後もご注目ください。



オリーブの木 所沢店 〒359-1111 埼玉県所沢市緑町3-30-10 TEL & FAX 04 (2921) 0276

集中出店エリアを
チェック!

ドール・日レスTOWN訪問記

東京都中央区八重洲2-1 「八重洲地下街」



本格的なエスプレッソが楽しめるハイグレードカフェ。パニーニの他、立地や客層によって、パスタやジェラートなどメニューの異なる3つの店舗スタイルで展開しています。

エクセルシオール カフェ
03-6202-0788
中1号



パリサンド (3種類:
ツナ&アンチョビ、ジャンボンフロマージュ、
タルタルシュリンプ)

八重洲地下街(やえすちかがい)は、東京駅八重洲口広場地下と広場に隣接する道路の地下に広がる地下商店街。ファッションからグルメ、そして生活雑貨にいたるまでオシャレなショップが並び、約200店舗のスケールを誇る日本最大級の地下街ショッピングモールです。



周辺
PASTA-YA 03-5401-8212
中央区八重洲1-4-20東京八重洲ビル1F
お手ごろな価格で本格的なパスタを楽しめます。カウンター席中心で一人でも気軽に入れ、忙しい仕事の合間などにさっと食べたいときにピッタリです。



雰囲気はヨーロッパの田舎のプチレストランです。ふんわりと仕上げたオムライスはやさしい味わいで、高校生からOLまで幅広く好評を得ています。

卵と私
03-6202-5121
南1号

デミグラスソースとクリームソースのWソースシチューオムライス



鶏は福島県産の伊達地鶏、塩は赤穂の天然塩を使用しています。炭火で焼き上げる自慢の焼き鳥はジューシーで、女性同士でも気軽に入れる雰囲気です。

地鶏や
03-6202-0353 南1号



伊達地鶏の親子丼



イタリア直輸入の高品質の食材を使用した、スパゲッティの代表ブランド。メニューは創作和風と本格派洋風で、麺は大釜でゆであげ当店ならではの食感です。

洋麺屋 五右衛門
03-6202-0223
南1号

海老とアボカドとフレッシュハーブのジェノバ風





ご家庭でもお楽しみいただける味のNo.1クオリティ

ドトールブランドのコンビニ・量販店向け商品

ドトールのブランド力とコーヒー専門会社としてのノウハウを最大限に活かしたドトールブランドのコンビニ・量販店向け商品。品質に磨きをかけながら、ドトールブランドに誇りと自信を込め、心を込めてお客様のもとにお届けいたします。

(コンビニや量販店により取扱いのない商品があります)

コンビニエンスストア・量販店向け商品ラインナップ



コンビニ中心 スーパーブラック

●内容量：340ml ●希望小売価格：136円
すっきりとした飲み口とほどよい苦味のショットボトルコーヒーです。



セブン・イレブン中心

ドリップカフェ クリスタルブレンド 5p

●5パック入り ●希望小売価格：292円
直火焙煎で丁寧に煎りあげた深いコクと芳醇な香りのブレンドコーヒーです。



量販店

ドリップバック まろやかブレンド 10p

●10パック入り ●希望小売価格：298円
甘味、酸味、苦味のバランスのよいまろやかで香り豊かなブレンドコーヒーです。



量販店

ドリップバック 深煎りブレンド 10p

●10パック入り ●希望小売価格：298円
深煎りならではの苦味とコクのあるブレンドコーヒーです。



量販店

インスタントスティックコレクション 8p

●8本入り ●希望小売価格：398円
泡立ちカフェラテ、カフェモカ、ロイヤルミルクティー、泡立ち抹茶オレをアソートしたバラエティ豊かなインスタントコーヒーパックです。



全国コンビニ

カフェオレ 270ml

●内容量：270ml ●希望小売価格：198円
コンビニ限定で展開。無添加のナチュラルなカフェオレをたっぷりお楽しみ頂けます。



全国コンビニ

カフェオレ 砂糖不使用

●内容量：270ml ●希望小売価格：198円
コンビニ限定で展開。昨年5月より展開している砂糖不使用タイプのカフェオレです。



全国コンビニ

カフェオレ 生クリーム仕立て

●内容量：200ml ●希望小売価格：168円
コンビニ限定で展開。生クリームのコクをたっぷりお楽しみ頂けるカフェオレです。



全国コンビニ

エスプレッソラテ

●内容量：200ml ●希望小売価格：168円
コンビニ限定で展開。エスプレッソのコーヒー感を冬に楽しむオリジナルエスプレッソラテです。



全国コンビニ

カフェモカ

●内容量：200ml ●希望小売価格：168円
コンビニ限定で展開。寒い冬の日にほっとする味わいを提供するフレーバードリンクです。

希望小売価格は全て税込です。

インターネット食品ショップ安心堂がリニューアル

厳選食品安心堂は、当社グループの関連会社であるT&Nネットサービス株式会社が運営し、安心して美味しい食品等を厳選して販売するセレクトショップです。洋麺屋 五右衛門の pasta セットや、インド・ダージリンの紅茶、イタリア産ワイン、手作りハム、ソーセージ、有機栽培米、無添加食品など、そのジャンルは多岐にわたります。

お客様が安心して高品質な食品を手に入れられる、食の総合サイトを目指しています。是非一度サイトをご覧ください。

※2009年4月に、安心堂百貨店から厳選食品安心堂にリニューアルいたしました。
厳選食品安心堂のサイト <http://www.anshindo-d.jp/>



五右衛門お試しパスタソース 6種Aセット

5,980円(税込・送料無料)

洋麺屋 五右衛門の pasta 16種を販売しています。五右衛門の pasta セットが購入できるのは、当サイトだけです。写真は、6種の pasta ソースを楽しむお試しセットです。



ダージリン・キャスルトン茶園・セカンドフラッシュのティーバッグ

900円(税込) 10包

インド・ダージリンの茶園から直輸入した最高級のダージリンティーです。フルリーフタイプの茶葉をそのままパックしていますので、簡単に美味しい本物の紅茶を味わえます。



自然食品の店「F&F」の安心野菜セット

3,780円(税込・送料無料)

F&Fが直接契約する農家から仕入れた栽培期間中・農薬不使用または50%以上農薬を減らした野菜のセットです。週替わりで旬の野菜をお届けしています。



CORPORATE PROFILE

会社概要

株式会社ドトール・日レスホールディングス

商号 株式会社ドトール・日レスホールディングス
 設立 2007年10月1日
 資本金 10億円
 従業員数 2,132名(連結)
 本社 東京都渋谷区猿楽町10番11号
 03-5459-9178(代表)
 事務所 東京都渋谷区神南一丁目10番1号
 03-5459-9178(代表)
 U R L <http://www.dnh.co.jp>

●取締役

代表取締役会長 山内 実 代表取締役社長 星野 正則
 取締役 大林 豁史 取締役 鳥羽 豊
 取締役 稲森 六郎 取締役 木高 毅史
 取締役 青木 幸隆 取締役 長沼 敏之
 (社外)取締役 財前 宏 (社外)取締役 稲垣 道子

●監査役

監査役 高橋 圭介 監査役 宮林 哲夫
 (社外)監査役 梶川 浩 (社外)監査役 吉島 重鐵

株式会社ドトールコーヒー

商号 株式会社ドトールコーヒー
 設立 1962年4月
 資本金 111億41百万円
 本社 東京都渋谷区神南一丁目10番1号
 03-5459-9008
 U R L <http://www.doutor.co.jp>

日本レストランシステム株式会社

商号 日本レストランシステム株式会社
 設立 1973年6月
 資本金 35億5百万円
 本社 東京都渋谷区猿楽町10番11号
 03-5456-0123
 U R L <http://www.n-rs.co.jp>

D&Nコンフェクショナリー株式会社

商号 D&Nコンフェクショナリー株式会社
 設立 2008年8月
 資本金 4億80百万円

D&Nカフェレストラン株式会社

商号 D&Nカフェレストラン株式会社
 設立 2008年12月
 資本金 2億円

株式会社サンメリー

商号 株式会社サンメリー
 設立 1946年5月
 資本金 2億42百万円

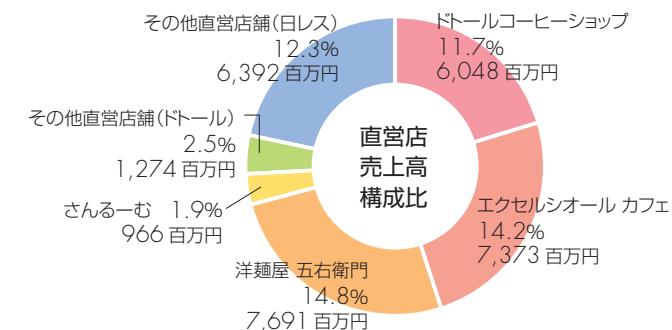
地域別店舗数

信越・北陸	28店舗	北海道	31店舗
関西	202店舗	東北	85店舗
中国	29店舗	関東	1,239店舗
四国	8店舗	中部	130店舗
九州・沖縄	75店舗		

業態別店舗数

業態名	2009年8月末	
	全店	うちFC
ドトールコーヒーショップ	1,117	971
エクセルシオール カフェ	181	41
カフェ コロラド	106	104
オリーブの木	11	4
洋麺屋 五右衛門	176	—
さんるーむ	31	—
俵屋 (TAWARA-YA)	21	—
卵と私	20	—
その他	164	3
合計	1,827	1,123

※日本レストランシステムの業態は全て直営です。



※直営店の売上高は総売上高の57.4%を占めます。

STOCK INFORMATION

株式情報(2009年8月31日現在)

株式の状況

発行可能株式総数	200,000,000株
発行済株式の総数	50,609,761株
株主数	25,597名

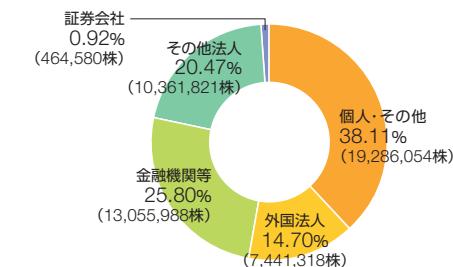
大株主

	持株数(千株)	出資比率(%)
大林 毅史	6,748	13.34
株式会社マダムヒロ	3,728	7.37
日本スタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	3,240	6.40
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	3,113	6.15
鳥羽 博道	2,430	4.80
株式会社バードフェザーリンク	2,300	4.55
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口4G)	1,830	3.62
日本たばこ産業株式会社	1,320	2.61
日興シティ信託銀行株式会社(投信口)	1,167	2.31
山内 実	924	1.83

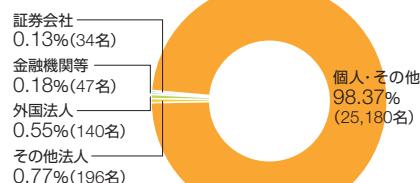
*出資比率は自己株式(9,640株)を控除して計算しております。

株式・株主分布

所有者別株式分布



株主構成



株主メモ

事業年度	毎年3月1日から翌年2月末日まで
定時株主総会	毎年5月に開催します。
基準日	定時株主総会 2月末日 期末配当金 2月末日 中間配当金 8月31日 そのほか株主総会を開催する必要がある場合は、あらかじめ公告して基準日を定めます。

1単元の株式数 100株

株主名簿管理人および特別口座の口座管理機関 東京都中央区八重洲一丁目2番1号 みずほ信託銀行株式会社

事務取扱場所	東京都中央区八重洲一丁目2番1号 みずほ信託銀行株式会社 本店証券代行部
郵便物送付先	〒168-8507 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 みずほ信託銀行株式会社 証券代行部 電話 0120-288-324 (フリーダイヤル)
公告掲載方法	電子公告により行います。(ただし、電子公告によることができない事故その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に掲載して行います。)
電子公告アドレス	http://www.dnh.co.jp/ir/koukoku/index.html

株主優待のご案内

当社の株主優待制度は下記のとおりです。

1 対象株主

毎年2月末日現在の株主名簿に記載された1単元(100株)以上保有の株主様を対象とさせていただきます。

2 優待制度の内容

保有株数	内容
100株以上500株未満	2,500円相当の商品
500株以上	4,500円相当の商品

3 贈呈時期

毎年6月の贈呈を予定しております。

株式に関するお知らせ

当社株式に関するお手続き〔単元未満株式の買取・買増について、配当金のお受取について〕に関しては、下記ご案内をご参照いただきますようお願いいたします。

——— 単元未満株式の買取・買増について ———

単元未満株式(100株に満たない株式)の買取・買増を請求することができます。

当社では単元未満株式を買い取らせていただく「買取制度」と、不足分を買い増していただき単元株式(100株)にまとめる単元未満株式の「買増制度」をご利用いただけます。

——— 配当金のお受取について ———

配当金については、最寄の「ゆうちょ銀行」または「郵便局」の貯金窓口にてお受取いただけます。

配当金は、支払い開始日から満3年を経過しますと当社は支払い義務を免れ、支払いに応じかねますので、確実に配当金をお受取いただける銀行等預金口座への振込、またはゆうちょ銀行の貯金口座への振込をおすすめいたします。

株式に関するお手続き等について

お手続き	お問い合わせ先	
	証券会社に口座をお持ちの場合	特別口座の場合
●株主名簿記載事項の変更 商号・氏名、住所、代理人選任、変更など ●単元未満株式の買取請求 ●単元未満株式の買増請求 その他手続きに関する事項	口座を開設した証券会社にお問い合わせください。	みずほ信託銀行 〒168-8507 東京都杉並区和泉2-8-4 TEL:0120-288-324
●未払い配当金	みずほ信託銀行 〒168-8507東京都杉並区和泉2-8-4 TEL:0120-288-324	

お問い合わせ先(株主名簿管理人) **みずほ信託銀行株式会社 証券代行部** フリーダイヤル **0120-288-324**
取次所 **みずほ信託銀行株式会社** みずほインベスターズ証券株式会社 本店および全国各支店